

かがやき



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2023年5月8日より2類相当から5類へ移行したことに伴い、さまざまな制限が緩和されておりますが、当院でも制限を緩和しています。入院患者さんへの面会については、発熱等の症状がある方以外は面会可能となっております。また、患者さんの状態やご家族の受け入れなどの条件を整えば入院患者さんの外出や外泊も許可しています。まだまだコロナ禍前と同様というわけではありませんが、今後徐々にイベントなども行っていきたいと考えています。

院長 小林篤寿

6月25日に開催された函館マラソン大会でハーフマラソンに出場し、奇る年波を感じながら何とか無事完走しました。約20年前、友人達と楽しい時間を過ごすことが走るきっかけでしたが、その後「先生と一緒に走りたい」と入院中に酸素吸入しながら応援に来てくれた1歳年下のAさんのために、また私が走るのを楽しみにして下さるご遺族の皆さんのために走るようになりました。

今年も訪問診療中のMさんが娘さんと一緒に応援して下さい、見つけ出した時は嬉しくて思わず手を握りしめました。しばらくすると10数年遺族茶話会に出席され、毎年応援に来て下さっているCさんが移動しながら3か所で声をかけて下さり感激しました。最後の2kmはハトハトでした。何とか競技場に戻って来ると、ゲート前でSさんご夫妻から最後のエールを送られました。かつてお2人のご両親を診療させていただいたご縁で、その後も病院のことを温かく見守って下さっているお2人でした。

「癒し癒される」と言うより癒されっぱなしでしたが、今年も走って良かったと心から思えた1日となりました。

名誉院長 福徳雅章

「ありがとう」

今から2年と少し前、自分に病気が見つかりました。それからというもの、「ごめんなさい」と「ありがとう」という言葉には似ているようで少し違う感じがするなぁと感じてきました。その言葉の奥には、反省を感じさせる共に、こんな私を許してくれてありがとうという気持ちが見え隠れするからです。私にとってはとても便利な言葉でした。それ以来、私は良く謝るようになりました。家事や仕事だけでなく、日常生活のささいな行動でさえも、自分一人の力で行うには難しく、周りの人の手を借りることが増えてきたからです。そんな私にとって「ごめんなさい」とか「すみません」という言葉は、とても都合のいい言葉でした。言われた相手は許さざるを得ないし、それによって私自身が救われてきたからです。



そうしているうちに、私が三度目の入院をすることになりました。この時の出来事は、私の価値観を大きく変えることとなったのです。今回の入院は、今までのそれとは全然様子が違っていました。食事も摂れず、一人で歩くどころか起きあがることすらできませんでした。夫婦共々心のどこかで二度と家には戻れないと覚悟を決めていたように思います。

私と私の命をつないでいるのは、ナースコールです。夫と娘が差し出してくれている両手があるからこそ、生きていられるようになったのです。これ以来、私の口から出てくるのは「ありがとう」ばかりになりました。何でもかんでも謝るといことはなくなりました。



今なら少し分かります。初めから「ありがとう」だけで良かったのだと思います。伝えたい気持ちは、今までもこれからも感謝でした。ただそれだけでした。今すぐに迷惑だとか謝罪の気持ちがなくなるわけではないけれど、自分を支えてくれるたくさんの愛情に気づき、心から甘えられるようになったこと、素直に感謝を言葉で伝えられるようになったことは、私の大きな気づきであり、成長なのでした。

あとどれくらいの時間が残されているのか誰にも分かりません。笑ってすごしても、メソメソ泣いて過ごしても同じ一日なのです。それならば、笑った方がいいです。応援してくれるたくさんの人と笑い、家族と美味しいものを食べて、その味や瞬間を記憶に残すことが私にできることなのです。この経験が私たち家族に教えてくれたことは、決して小さく簡単なものではありません。しかし今後の人生に大きく影響し、くじけそうな自分を支えてくれえるに違いないと私は思います。これからの未来を生きる夫と娘に望むのは、二人が手を取り合うこと、健康で幸せな笑顔で過ごすことにつきますのです。

from the bereaved family

「叔父との別れ」

叔父が、函館おしま病院（ホスピス）へ入院したのは今年の1月12日です。主訴は右上顎部の激痛（食事・会話・口腔の開閉等）で、それは本当に苦しうでした。その他、胸部痛・息切れがありました。入院の数日後に「この先生と看護師さんは皆さん優しい方ばかりだよ」と笑顔で話していたのを覚えています。本当に良かったと私は安心しました。



病院生活における叔父の楽しみは、WBC（野球世界一を競う大会）を観られたことで、日本優勝は勇気と活力を叔父に与えたようです。大谷選手のファンでしたので、毎日テレビを見て応援していました。また、週二回の入浴をいつも心待ちにしていたようです。映画や音楽の鑑賞により痛みは少し和らいでいたものと思われます。また、季節の行事である節分と雑祭りでは、看護師さんに囲まれて写真を撮ってもらい、その嬉しさに満ち溢れてるステキな笑顔が印象的でした。さらに、以前から楽しみにしていたお花見では、先生のご配慮により福祉車両を用意して頂き、満開の桜を観ることができて、とても満足そうでした。車中では看護師さん達との何気ない話を少しばかりできた様子でそのことを耳にした私は良かったと思いました。日常のできることを少しでも体験できることが、病人にとってはとても大切なことなんだと考えさせられました。健康であった時とは違って、桜がどんなに美しく優しく、叔父に寄り添ってくれたかも理解出来ました。言葉では言い表せない幸せな時間だったのではと思います。



5月に入り体力と気力低下がみられてきましたが、好きなコーヒーやクリームパンなど、少量ではありましたが、食べていました。「この組み合わせは美味しい」と言っていました。6月4日は少し元気がなく、昨晚、5年前から入院生活をしている妻が、ここ病院に来てくれたこと、飼っているネコが膝元に来て、トントンと膝を叩いてくれたことを話してくれましたが、でもこれは「幻覚だよ」と言った後、「あともう少しだよ」と天井に目を向けてました。死が近いのを悟っているようでした。6月9日の朝、（前日、歯科先生より治療を受けております）ヨーグルトを少しばかり口にした後、しばらくして本人が、+スリルで胸が苦しいと訴え、手当を受けましたが、その後、静かに息をひきとりました。私は「叔父さんもう痛くないよね」と心の中で叫びました。長い間よく頑張ったとの思いがこみあげて、涙が止まりませんでした。

これまで穏やかに過ごせたのも、先生をはじめ看護師さんと多くの関係者の方々の、丁寧で心のかもったお世話があったからこそと感謝しております。小雨が降る中、個人とともに車で家に戻る際には、ホスピスの皆様方のお見送りを頂きました。故人も心から感謝していることとと思います。心のかもったお見送りを頂き、胸が熱くなり大粒の涙がこぼれました。本当にありがとうございました。重ねて心からお礼申し上げます。

E . U

看護部よりごあいさつ

入退院支援室に着任して3ヶ月になろうとしています。定年という年齢、新たな分野への挑戦という事もあって苦慮する日々が続いていますが、周囲の皆さまのご指導のもと、エンドオブライフ・ケアに携わるチームの一員としての誇り、そして「涙の思いに寄り添い、笑顔に変える・・・」そんな初志を貫ける場である事を糧に、傾聴と思いやりの心を大切に尽力してゆきたいと思っています。

入退院支援 上井嘉寿子

私はホスピスで働きたいと思い、おしま病院に応募しました。その際に、担当して下さったハローワークの方のご家族が、偶然おしま病院で訪問診療を受け、最期を過ごし、先生やスタッフにお世話になったと言う話を聞き、感銘を受けました。7月に入職し、受付では高校の同級生と25年ぶりに再会し、更にホスピス病棟師長さんは、20年前にお世話になった師長さんでした。私にとって運命を感じる出来事の連続でした。11月からは開設される訪問看護ステーションで勤務する予定です。ホスピスで働く先輩からたくさん学び、患者様・御家族が望む環境をサポートできるよう、思いやりの気持ちを持ち、努力していきたいと思えます。

看護師 山村幸子

お知らせ

- ・ R5年1月より外来スペース移転、運用開始しました。
- ・ R5年5月8日より面会制限全解除しました。
- ・ R5年7月より室料差額変更し患者様への負担軽減させて頂きました。
- ・ R5年7月末より、遺族茶話会を再開します。毎月最後の土曜日に開催を予定しております。

編集後記

・トマトが豊作の予感がするおしまフキファーム。雨にあたって実が割れたりしないように患者さん全員が一粒ずつトマトを口にできるようにとボランティアのHさんが大切に愛情たっぷりに育てておられます。わたし達のふつうの生活は、そんな誰かの優しさや思いやりで支えられていて、それが「袖の振り合わせも他生の縁」ということなのかもしれないなあと感じた今月号編集でした。T・早いものであつという間に前号より半年が過ぎてしまいました。次号を発行する時はNEW おしま病院が完成し、新体制での運用が始まっている予定です。少しさぼり気味のInstagramですが、何気ない日常もたくさん投稿したいと思います。気軽に覗いて頂ければと思います。M

〒040-0021

函館市的場町19番6号

医療法人敬仁会 函館おしま病院

TEL (0138) 56-2308 FAX (0138) 56-2316

ホームページ

<https://www.oshima-hp.or.jp>

公式: Instagram



診察時間

内科・緩和ケア内科（初診のみ予約制）

月～金 9:00～12:30、13:30～16:00

土日祝 休診

